

レイアウト

伝動用チェーン
 一般
 標準形ローラ
 高強度シリーズ
 耐摩耗シリーズ
 耐環境シリーズ
 静音シリーズ
 特定用途シリーズ
 関連商品
 スプロケット
 設計
 メンテナンス

小形搬送用チェーン
 一般
 シングルピッチ
 ダブルピッチ
 その他
 技術資料

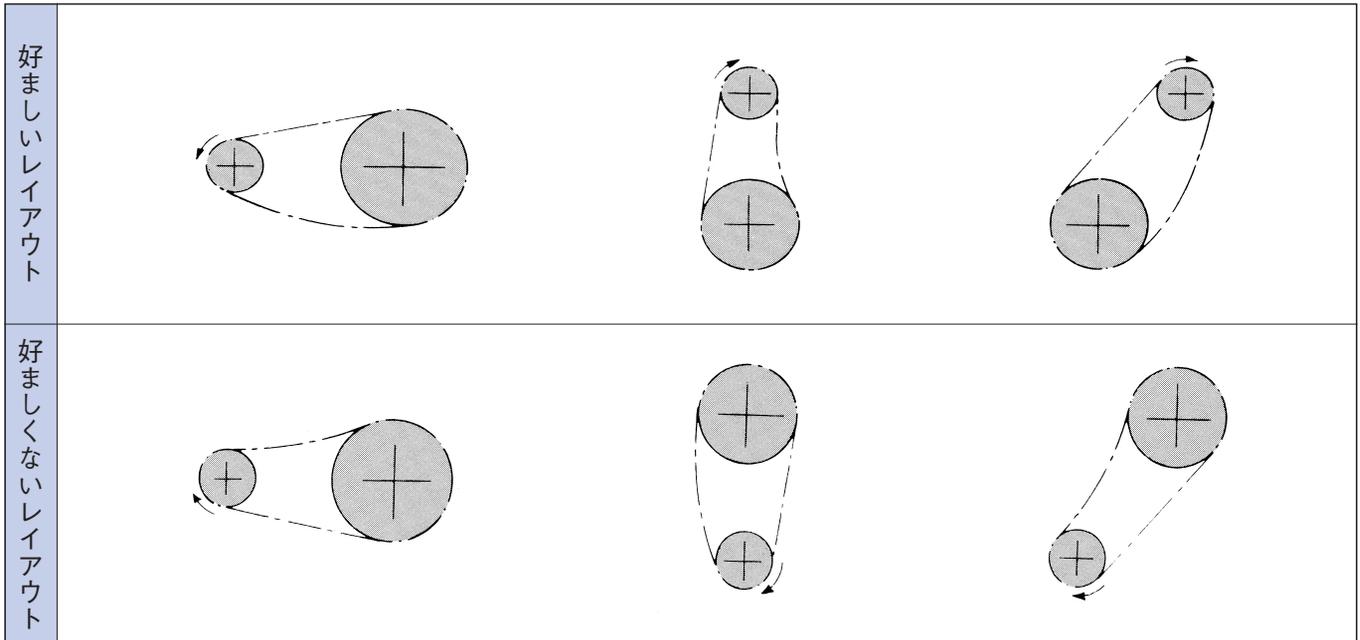
DK汎用コンベヤチェーン
 概説
 汎用並形
 固着防止ローラ形
 ペアリングローラ形
 メガ・シール
 強力H・Z形
 ハイリンク
 サイドローラ
 トップローラ

DK特定用途コンベヤチェーン
 特殊搬送専用
 水処理専用
 3次元屈曲
 その他

写真集
 スプロケット
 実績写真集
 特殊チェーン写真集
 スプロケット

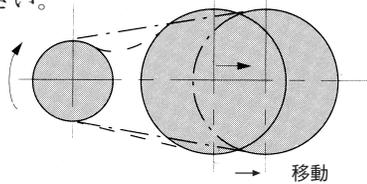
技術資料
 チェーンの選定
 許容負荷
 推奨仕様
 耐食性
 メンテナンス

ローラチェーンのご使用にあたり、軸の位置は任意に決定して差支えありませんが、原則として下図に従って下さい。すなわち、チェーンを水平に張りかけて使用される場合には、上部を緊張側として下さい。また、垂直伝動はなるべく避け、止むを得ない場合は回転方向を問わず、大スプロケットを下側位置にして下さい。

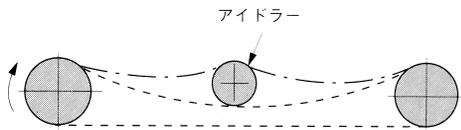


好ましくないレイアウトで使用される場合

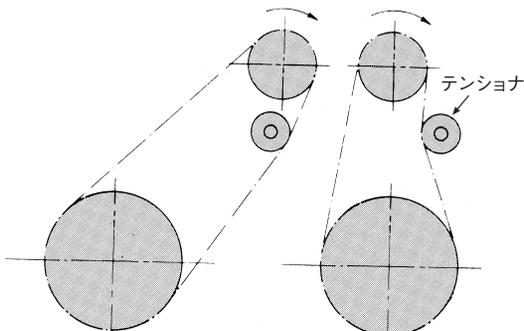
● 上側がたるみで軸間距離の短い場合
 図のように余分のたるみを除くため、軸を移動させて軸間距離を調節して下さい。



● 上側がたるみで軸間距離が長い場合
 図のように、内側からアイドラーを入れてたるみを除いて下さい。



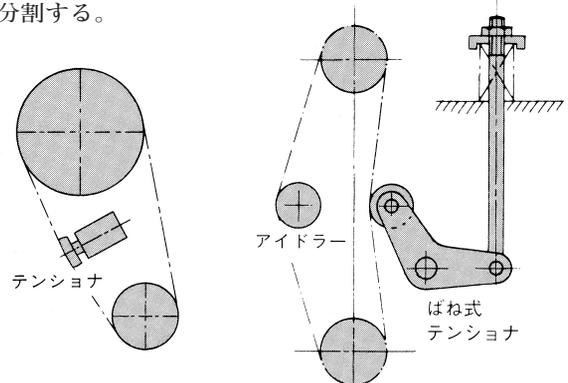
● 軸が垂直、あるいは傾斜している場合
 図のように、テンショナで余分のたるみ量を除いて下さい。この場合、自動的に働いてたるみを取除くテンショナの方が良い結果が得られます。



高速で脈動荷重がかかる場合

チェーンの固有振動数と、負荷衝撃周期、あるいはコーダルクッションが同調して、チェーンに振動を起すことがあります。振動はチェーンに極めて悪い影響を与えますから、次の方法で防止して下さい。

- チェーンの使用回転数を変更する。
- チェーンテンションを変更する。ただし、張り過ぎると、却ってチェーン寿命を短くしますので注意が必要です。
- アイドラスプロケット、テンショナを使用してスパンを分割する。



● ガイドストッパーを取付けて振動を防ぐ。

注) コーダルクッションとは、スプロケットの噛み合いの際に、生じるチェーンの上下運動のことです。

